

最初に  
ご確認ください

- マウス本体 ..... 1台
- 超小型レシーバー ..... 1台
- 単四乾電池(テスト用) ..... 2本
- 取扱説明書 ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1. はじめに
2. 健康に関する注意
3. 警告
4. 対応機種・対応OS
5. 接続手順
6. 仕様
7. 仕様
8. 各部の名称とはたらき
9. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)
10. マウスの接続(Windows用)
11. マウスの接続(Mac OS X用)
12. ID(チャンネル)の設定方法
13. 「故障かな…」と思ったら
14. 保証規定

1. はじめに

この度は、ワイヤレス光学式マウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品をご使用前にこの取扱説明書をお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておくください。

2. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。  
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。  
また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

3. 警告

- テレビラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の番の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。  
ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。  
ご使用のパソコンシステムがテレビラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいは、いくつかを組合わせてお試しください。  
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。  
●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを設定し直してください。  
●テレビまたはラジオとは別の電源供給線にあるコンセントにパソコンを接続してください。  
●状況に応じ、テレビラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4. 対応機種・対応OS

- 対応機種  
●Windows搭載(DOS/V)パソコン  
●Apple Macシリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種
- 対応OS  
●Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP  
●Mac OS X(10.3以降)  
※Mac OS Xで標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。  
※機種により対応できないものもあります。  
※この文中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

5. 接続手順

詳細は各項目をご覧ください。

- ・対応OSを確認します。
- 4. 対応機種・対応OS



- マウスに電池を入れます。  
(自動的に電源がONになり、約2秒間LEDが点灯します)  
※光が目に入らないようご注意ください。
- 9. マウスの準備



- ・パソコンの電源を入れOSを起動します。
- ・USBポートにレシーバーを接続します。
- 10. マウスの接続



マウスは使えるようになります。



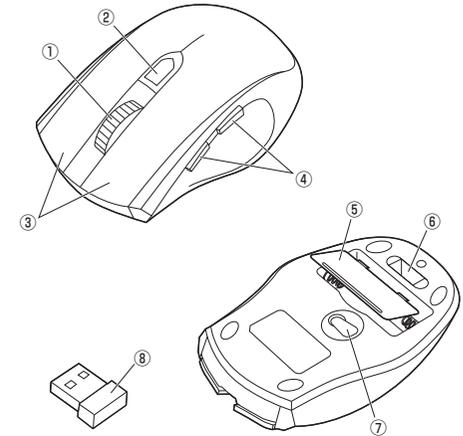
6. 特長

- 赤色の光学式より感度の高い青色LEDセンサーを搭載し、光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作が可能です。  
※鏡など光を反射する素材や、ガラスなど透明な素材の上で使用すると、カーソルがスムーズに動かない場合があります。また、規則正しいパターンの上ではトラッキング能力が低下する場合があります。
- ノートパソコンに差し込まず、持ち運びや保管ができる超小型レシーバー(14.5×9mm)です。ノートパソコンに装着した際のも、わずか8mmです。
- ケーブルを気にせず利用できるワイヤレスタイプです。
- 電波干渉に強い2.4GHzデジタル帯なので、通信範囲が半径10mの広範囲で安定したデータ通信が可能です。
- 電波干渉のない場合に限ります。
- レシーバーはマウス本体裏面に差し込むだけの簡単収納です。ノートパソコンからレシーバーを取外した際も紛失を防ぐことができます。
- 800・1200・1600カウント切替ボタンを搭載しています。カーソルスピードを簡単に切替えることができます。
- 戻る・進むボタンを搭載しており、サイドの2ボタンでWEBブラウザの「戻る・進む」操作をスピーディーに行えます。  
※戻る・進むボタンはApple Macシリーズでは使用できません。  
※本製品は電池が入った状態では電源がONになりますが、レシーバーが通電していない状態では、2秒程度でスリープモードに入るため、電池を入れたままでも電池をほとんど消費しません。クリックボタン、ホイールボタンを押した場合のみ、復帰動作でLEDが点灯しますが、約2秒間レシーバーとの接続が見つからなければ再度スリープに入ります。
- 別途サンワサプライ製USBホスト変換ケーブルAD-USB 18を使用するとUSBホスト機能に対応したスマートフォンに接続することができます。  
※本製品は電源スイッチがありません。持ち運びの際はなるべく電池を取外してください。

7. 仕様

インターフェース	USB HID仕様(バージョン1.1準拠) ※USB3.0/2.0インターフェースでも使用できます。
コネクタ形状	USB(Aタイプコネクタ)
ワイヤレス方式	2.4GHz RF電波方式、AUTO LINK(34チャンネル×65536ID) ※マウスとレシーバー間のIDは固定です。
通信範囲	木製机(非磁性体)/半径約10m、スチール机(磁性体)/半径約2m ※使用環境によって異なります。
分解能	800・1200・1600カウント/インチ
読み取り方式	ブルーLEDセンサー方式
ボタン	2ボタン、2サイドボタン、ホイール(スクロール)ボタン、カウント切替ボタン
電池性能	続作動時間/約300時間、連続待機時間/約1500時間 使用可能時間/約3ヶ月間 ※一日8時間(パソコンを使用中に、マウス操作を25%程度行う場合。 (アルカリ単四乾電池使用時) ※弊社社内テスト理論値であり、保証値ではありません。
サイズ・重量	マウス/W71.6×D111.1×H38.5mm・66g(電池含まず) 超小型レシーバー/W14.5×D19×H6mm・2g
付属品	超小型レシーバー、単四乾電池×2本(テスト用)、取扱説明書

8. 各部の名称とはたらき(Macでは一部の機能がご使用いただけません)



- ①ホイール(スクロール)ボタン ..... インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

- スクロールモード  
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
- ズーム  
ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

- ②カウント切替ボタン ..... カウント切替ボタンを押すと、カーソルスピード(分解能)を800・1200・1600・800カウントに切替えることができます。
  - ③左ボタン・右ボタン ..... 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることができま。
  - ④戻るボタン・進むボタン ..... Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。(Windowsのみ)
  - ⑤電池カバー ..... このカバーを取外して、電池を入れます。
  - ⑥レシーバー収納スロット ..... レシーバーを収納することができます。
  - ⑦ブルーLEDセンサー ..... 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。
  - ⑧超小型レシーバー ..... 14.5×19×6mmの超小型レシーバーなので、装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。
- ※10分間何も操作しないとスリープモードになります。マウスを動かすとスリープを解除できます。マウスのクリックボタンを押すと、スリープを解除できます。

9. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)

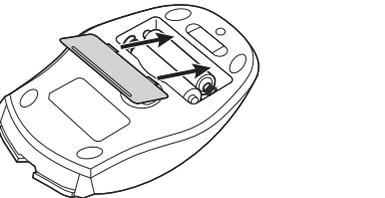
1. マウス裏面の電池カバーをA部分を押しながらBの方向に持ち上げて開き、取外します。



2. 単四乾電池2本を電池収納スロットに入れます。  
※正しい極性で入れてください。



3. 電池カバーのツメを差し込んでから、フタを閉じます。  
電池をセットすると電源がONになり、ブルーLEDセンサーが約2秒間点灯します。  
※光が目に入らないようご注意ください。  
※本製品は、レシーバーとのペアリングが確立されるとブルーLEDセンサーが常時点灯します。レシーバーとのペアリングが完了していない状態でブルーLEDセンサーは約2秒で消灯しますが、不具合ではありません。  
※10分間何も操作しないとマウスはスリープモードになります。電源をOFFにする場合は電池を取外します。



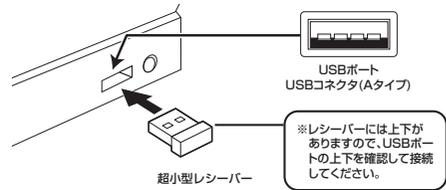
※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり、ブルーLEDセンサーが点灯しなくなったり、電池を交換してください。  
※電池交換の際は、新品の単四アルカリ乾電池をご利用ください。  
(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります)  
※空になった電池をマウス内に置いておくとも液漏れの原因になりますので、取出しておいてください。

## 10.マウスの接続(Windows用)

### ■レシーバーを接続

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。



- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動し、完了後マウスが使用できるようになります。動作しない場合はマウスのクリックボタンを押してください。

### (Windows 10・8.1・8の場合)

ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

### (Windows 7の場合)

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」[USB入力デバイス]と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### (Windows Vistaの場合)

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」[USBヒューマンインターフェイスデバイス]と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### (Windows XP場合)

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



## Windows 7またはWindows 10・8.1・8パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

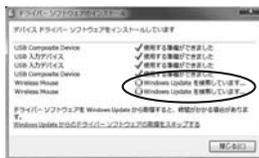
インターネットに接続されたWindows 7やWindows 10・8.1・8のパソコンで、マウスを接続してもしばらく認識しない場合があります。このような場合、初期USB機器接続時のドライバのインストール中、Windowsが最新ドライバを自動的に検索する機能が働いている場合があります。使用可能なマウスやタッチパッド/タッチパネル操作で、下記解決方法をお試しください。

### ■最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ

最初に接続すると、タスクバー右下に下記のようなメッセージが出ます。(このウィンドウは、設定関係なく表示されます)



ウィンドウをクリックすると、ドライバのインストール状況が確認できます。ここで、「Windows Updateを検索しています…」と表示され、しばらく検索が続きます。



### ■解決方法

- [1] 使用されているパソコンのインターネット接続を無効にする。

パソコン本体のワイヤレススイッチをOFFにしたり、ケーブルを抜くなどでネットワークから切り離してください。

- [2] Windowsのドライバインストール設定を変更する。

下記、手順①は、OSバージョンにより操作方法が異なります。ご使用のOSの項目をご覧ください。



### ①<Windows 7の場合>

(変更後は元に戻されることをお薦めします)

- ・「スタートメニュー」を開き、「デバイスとプリンター」を開きます。

## 11.マウスの接続(Mac OS X用)

Mac OS Xは、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- ①パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

## 12.ID(チャンネル)の設定方法

### ※重要(必ずお読みください)

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでないことがあります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくして、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

## 13.「故障かな…」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A. 1.マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。(「9.マウスの準備」参照)
- 2.レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「10.マウスの接続のレシーバーを接続」参照)
- 3.付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。(「9.マウスの準備」参照)

Q.マウスをしばらく操作しない、マウスカーソルが動かなくなる。

- A. 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、マウスを動かすか、左右ボタンを押してください。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

- A. 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
- 2.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
- 3.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線混信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるといった機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズにに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。方がAuto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
- 4.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

- A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
- 2.ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。そのため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

- ①<Windows 10・8.1・8の場合>  
(変更後は元に戻されることをお薦めします)

画面左下にある「Windowsマーク」にカーソルを合わせ、右クリックします。

「コントロールパネル」を選択します。

「ハードウェアとサウンド」内の「デバイスとプリンター」を開きます。

### ②<各OS共通>

使用しているパソコンのアイコンが出ますので、右クリックします。



- ③表示されるメニュー内の「デバイスのインストール設定」をクリックします。



- ④「いいえ」を選択し、「コンピューター上で…」が「Windows Updateから…」を選択し、「変更の保存」をクリックして完了です。その後、USB機器の接続を行ってください。

- [3] Windows Updateの検索をスキップする。



ドライバインストール時の状態表示ウィンドウ内で、「(最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウを参照)「Windows Update」からのドライバソフトウェアの取得をスキップする」をクリックします。すると、自動的に検索がストップしますが、完了するまでに時間がかかります。場合によっては、解決できないことがあります。

## 14.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がございました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添付してお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱いしらの不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天災や火災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - ⑥盗難や中古販売・オークション転売などご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしません。
- 6)本製品は医療器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込み使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

## 最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- Q&A(よくある質問)
- ソフトダウンロード
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

### ▼トップページから



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

岡山サブライセンター 〒740-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サブライセンター 〒140-8566 東京都品川区南大井6-6-5-8 TEL.03-5763-0411 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所 〒060-0808 札幌市北区北11条西4-1-1 TEL.011-811-3450 FAX.011-716-8960  
仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所 〒453-0015 名古屋市中村区樽井1-6-7 カジマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所 〒595-0003 大阪市淀川区西長田4-1-45 大丸淀川ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-8-20 博多相互ビル TEL.092-471-8271 FAX.092-471-8078